

平成二十九年 度

高等学校入学者選抜学力検査問題

第 一 部

国 語

注 意

- 1 問題は、**一** から **四** まであり、7ページまで印刷してあります。
- 2 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 3 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、問いで指示されている記号で答えなさい。
- 4 問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一 次の問いに答えなさい。

問一 (1)～(4)の――線部の読みを書きなさい。

- (1) 規則を守って図書館を利用する。
- (2) 絵画コンクールに作品を応募する。
- (3) 日を改めて話し合う。
- (4) うれしい知らせに心が躍る。

問二 (1)～(4)の――線部を漢字で書きなさい。

- (1) 会議室の壁に大型モニターをせつちする。
- (2) 目的地までのうんちんを調べる。
- (3) 皿に料理をもりつける。
- (4) 笛の合図でいきおいよく走り出す。

問三 次の漢詩を読んで、(1)、(2)に答えなさい。

黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る 李白	
故人西のかた黄鶴楼を辞し	故人西辞黄鶴楼
烟花三月 	烟花三月下扬州
孤帆の遠影碧空に尽き	孤帆遠影碧空尽
惟だ見る長江の天際に流るるを	惟見長江天際流
(注) 揚州――中国にある都市。 惟――ここでは、「唯」の字でも同じ。	

(1) この漢詩の形式を何と言いますか。 に当てはまる漢字一字を書きなさい。

言絶句

(2) に当てはまる、――線部「下扬州」の書き下し文を書きなさい。

問四 次の文を読んで、〰線部「大きな」と修飾・被修飾の関係にあるものを、ア～キから一つ選びなさい。

ア 水族館の イ 水槽の ウ 中で 〰大きな エ くらげが オ ゆらゆらと カ 泳いで キ いる。

問五 次の文章を読んで、(1)～(3)に答えなさい。

- (1) ―線1「三十一文字」とありますが、これは何を表していますか、文中から漢字二字で書き抜きなさい。
- (2) ―線2「心の結晶」とありますが、これはどのようなものですか。「心」がたとえている内容を明らかにして、解答欄に示した表現につながるように、文中から十字以上、十五字以内で書き抜きなさい。
- (3) 国語の授業で、『源氏物語』の「書かれた時代」と「作者」を次のように一文で発表するとき、に入る表現を考えて、十五字程度で書きなさい。

『源氏物語』は、です。

二 次の問いに答えなさい。

問一 次のA、Dの——線部を漢字に直したとき、「除雪」と熟語の構成が同じになるものを一つ選び、その漢字を書きなさい。

「除雪」

- A 友達は私にとって大切なそんざいだ。
- B 北海道は海産物のほうこだ。
- C オリンピックがかいまくする。
- D 湖岸と中島とを観光船がおうふくする。

問二 (1)、(2)の文から、誤って使われている漢字一字をそれぞれ書き抜き、同じ読みの正しい漢字を書きなさい。

- (1) 海外から輸入した商品の売り上げが伸びて、会社の利易が上がった。
- (2) 調理実習では、先生の指示に従い、お互いに強力して作業をすることが重要だ。

問三 中学生の山田さんが、修学旅行で北海道に来た小学生たちに、北海道を紹介する観光ボランティアガイドを行うことになりました。次は、参考にしたウェブページ(A)と、実際にガイドを行っている場面の一部(B)です。これらを読んで、(1)～(3)に答えなさい。

(A) ウェブページ

ハマナス

分 類	バラ科バラ属。
大きさ・高さ	1.0～1.5m。
生育地等	海岸の砂地に自生する。
分 布	北海道では、海岸に多く見られる。本州では、太平洋側は青森県から茨城県、日本海側は青森県から島根県辺りまで分布する。
花の特徴	初夏、枝先に1～3個ずつ花を付ける。芳香があり、香水の原料がとれる。花弁の色が美しいので、観賞用に庭木として栽培される。
実の特徴	直径2.5cmほどの球形で、黄赤色に熟す。
性質	耐寒性が強い。
名前の由来	ハマナス(浜茄子)の名が定着しているが、ハマナシ(浜梨)が元の名と言われる。
その他	昭和53年、北海道の花に指定。

北海道の花「ハマナス」

ハマナスは、北海道110年を記念して一般公募を行い、「花の色が鮮明で葉も美しい」、「生命力が強い」など、北海道にふさわしい花という多くの意見により、昭和53年7月26日に、北海道の花に指定されました。

(B) 実際にガイドを行っている場面の一部

- (山田さん) みなさん、こんにちは。私は、観光ボランティアガイドを行う山田です。
- (小学生) よろしくお願いします。
- (山田さん) この辺りに咲いている赤い花は、「ハマナス」という花です。みなさんは知っていますか。
- (小学生) 北海道に来て初めて知りました。
- (山田さん) そうですか。でも、ハマナスは、東北や北陸などの本州でも見ることができます。みなさんの学校の近くでも咲いているかも知れませんよ。
- (小学生) へえ、帰ったら探してみよう。
- (山田さん) 北海道では、道内各地の海辺の砂地に生えています。ハマナスは、今から約四十年前の昭和五十三年に、北海道の花に指定されました。ハマナスを見て、どのような印象を持ちましたか。
- (小学生) 花の色が明るくてきれいです。
- (小学生) 赤くて丸い実がかわいいと思います。
- (山田さん) そうですよ。ほかにも、「生命力が強い」と言う人もいます。その理由は、① からです。
- (小学生) 質問があります。ハマナスは、ナスの仲間なのですか。
- (山田さん) いい質問ですね。ハマナスの「ナス」は、元々は果物の「梨」の字を当てていました。「浜梨」がなまって「ハマナス」になったと言われています。ナスの仲間ではありません。
- (小学生) ハマナスは、梨の仲間なのですか。
- (山田さん) そうです。ハマナスも梨も同じバラ科の仲間です。果実を梨にたとえて「浜梨」と呼んだのでしょうか。
- (小学生) 面白いですね。
- (山田さん) ②

- (1) (B) から、山田さんは、観光ボランティアガイドを行うに当たって、何を心がけていることが分かりますか。最も適当なものを、ア～エから選びなさい。
- ア 自分の考えを印象付けるために、重要な言葉を繰り返して話すこと。
- イ ハマナスについて詳しく説明するために、様々な^{ひよ}比喩を用いて話すこと。
- ウ 自分の考えを確実に伝えるために、自分の意見を中心に話すこと。
- エ 小学生たちの興味や関心を引き付けるために、質問を交えながら話すこと。
- (2) (B) の ① に当てはまる表現を、十五字以上、二十字以内で書きなさい。ただし、(A) から理由として適当な文を二つ取り上げ、まとめること。
- (3) 山田さんは、(B) の最後で、ハマナスの特徴を生かした利用の仕方について、(A) の内容を参考にして二つ紹介しました。(B) の ② に当てはまる表現を、解答欄に示した表現につながるように、一文で書きなさい。ただし、小学生たちに伝わりやすいように言葉を言いかえること。

三

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一 ―線一「世の中は私が思っているよりも上等なのかもしれない」とありますが、「私」が、このように思ったのは、どのような様子を目にしてきたことによるのかを、次のようにまとめるとき、 に当てはまる表現を、十字以上、十五字以内で書き抜きなさい。

特に宣伝しているわけでもなさそうなのに、いつどんなときに食べてもしみじみとおいしい素朴なパンを求める人たちで、近所のパン屋に 様子。

問二 ―線二「とてももう一度自分で焼く気にはなれなかった」とありますが、「私」が、このように思った理由が分かる最も適当な一文を文中から抜き出し、その最初の五字を書きなさい。

問三 ―線三「つるつるした感想」とありますが、この表現から、「私」が、パン教室の参加者たちの感想を、どのように思っていることが分かりますか、最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 思いやりのないもの。

イ あたりさわりのないもの。

ウ 型破りなもの。

エ その場にふさわしくないもの。

問四 ―線四「少なくとも私はパン教室に参加しなければずっと見過ごしたままだったろう」とありますが、「私」がパン教室に参加したことによって、世の中で仕事をするに對する「私」の考え方はどのように変化しましたか。その変化が分かるように、九十字程度で説明しなさい。

四

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

昔、唐の絵かきに戴嵩^{たいそう}といふあり。牛をえものにてかく事上手なり。ある時、角を振り尾を立てて、牛どもの戦ふをかく。ひとしはうるはしくいできたりと思ひて、人々に見せあへり。その後、牛つかふ小童の、野飼^{のき}ひに出でたるにこの絵を見せ、汝^{きみ}が朝夕つかふ牛に、よく似たるかといひて問ひし時、牛飼ふ小童、これを見て笑ふ。「いかに。」となれば、「牛の戦ふ時は、尾を立てずして腹に尾を付くるものなり。この絵は尾を立てたれば、¹あやまりなり。」といひし。戴嵩^{たいそう}驚き、げにもと感じ、その絵を破りたり。

³まことに名人は、何事によらず、戴嵩のごとくありたきものなり。戴嵩ほどの牛かきなれども、まことの牛に手なれぬ事なれば、あやまりもやあるらんと、朝夕なる牛飼ひの小童に見せたるは、名人の戴嵩なればこそ。

(中川喜雲「私可多咄」による)

- (注) えものにてかく事——最も得意なものとして描くこと。 ひとしは——一段と。
牛つかふ小童——牛飼いをしている子ども。「牛飼ふ小童」、「牛飼ひの小童」も同じ。
驚き——はっと気が付いて。 げにも——もつともだ。
手なれぬ——扱い慣れていない。
あやまりもやあるらん——誤りもあるかもしれない。

問一 ——線1「いひて問ひし時」とありますが、このときの戴嵩の言葉を全て抜き出し、その最初と最後の四字をそれぞれ書きなさい。

問二 ——線2「あやまりなり」とありますが、小童が戴嵩の絵の誤りについて話した内容を次のようにまとめるとき、 ①、②に当てはまる表現を、それぞれ五字以上、十字以内で書きなさい。

戦っているときの牛は、尾を立てず ① けれども、戴嵩の描いた絵の中の牛は、尾を ② 。

問三 ——線3「まことに名人は……ありたきものなり」は、「本当に名人というものは、どのようなことについても例外なく、戴嵩のようであってほしいものだ」という意味ですが、ここで筆者は、名人にはどうあつてほしいと考えていますが、最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 自分の作品の手本となるものを毎日観察するほどのひたむきさをもつてほしい。
イ 自分の作品を人々に見せる機会を増やし、多くの人々に広める努力をしてほしい。
ウ 自分の作品に対する他人からの意見を受け入れるような謙虚さをもつてほしい。
エ 自分の作品の仕上がりに関わらず、作品を大切にしようという心がけをもつてほしい。

第一部

国語

正 答 表

問題番号	正	答	配点	通し番号	採点基準		
一 学校設置問題と対になる問題					一 問五③ 1 ①書かれた時代が平安時代であることと、②作者が紫式部であることの二点が、適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は一点を減じる。 2 字数については、解答欄の枠内で答えるものとし、それを超えるもの、または、極端に少ないものについては、各一点を減じる。 3 表現の稚拙なもの、不十分なもの、表記上の欠陥があるものについては、各一点を減じる。 4 減点の結果がマイナス点にならないようにする。		
二	問一	(1)	きそく	1	①		
		(2)	おうぼ	1	②		
		(3)	あらた(めて)	1	③		
		(4)	おど(る)	1	④		
	問二	(1)	設置	1	⑤		
		(2)	運賃	1	⑥		
		(3)	盛(りつける)	1	⑦		
		(4)	勢(い)	1	⑧		
	問三	(1)	七	1	⑨		
		(2)	揚州に下る	1	⑩		
	問四	エ	2	⑪	二 問三② 1 ①海岸の砂地に自生することと、②耐寒性が強いことの二点が、適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は一点を減じる。 2 字数については、設問の指示に従って答えるものとする。 3 その他については、一の問五③の採点基準3、4に準じる。		
		問五	(1)	和歌		3	⑫
			(2)	登場人物の思いが凝縮している(もの)		3	⑬
		(3)	(正答例) (『源氏物語』は、)平安時代に書かれ、作者は紫式部(です。)	3	⑭		
三		問一	開幕	2	⑮	三 問三③ 1 ①良い香りがするので香水に使われることと、②花びらの色が美しいので見て楽しむために庭木として栽培されることの二点が、小学生たちに伝わりやすいように言いかえられた言葉で、解答欄に示した表現につながるように、一文で適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は三点を減じる。 2 その他については、一の問五③の採点基準3、4に準じる。	
	問二		(1)	(誤って使われている漢字) 易 (正しい漢字) 益	1		⑯
		(2)	(誤って使われている漢字) 強 (正しい漢字) 協	1	⑰		
	問三	(1)	エ	3	⑱	四 問四 1 ①私が、世の中では、仕事を適当にやっていると、②仕事が人から認められるためには、地道な仕事を常に淡々とこなすことが大切だと考えるようになったことの二点が、適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は三点を減じる。 2 その他については、一の問五③の採点基準2、3、4に準じる。	
		(2)	(正答例) 海岸の砂地に自生し、耐寒性が強い	3	⑲		
		(3)	(正答例) (また、ハマナスの花は、)良い香りがするので香水に使われたり、花びらの色が美しいので見て楽しむために庭木として栽培されたりしています。	5	⑳		
	問一	客足が途絶えることがない	3	㉑	五 問二 1 ①は、戦っているときの牛は、尾を「腹」に付けていることが、②は、戴高の描いた絵の中の牛は、尾を「立てている」ことが、適切に表現されているものをそれぞれ正答とする。 2 その他については、一の問五③の採点基準2、3、4に準じる。		
		問二	想像してい	3		㉒	
		問三	イ	3		㉓	
		問四	(正答例) 私は、世の中では、仕事を適当にやっていると、②仕事が人から認められるためには、地道な仕事を常に淡々とこなすことが大切だと考えるようになった。	6		㉔	
問一	(最初) 汝が朝夕 (最後) 似たるか		2	㉕	六 問三 1 ①は、戦っているときの牛は、尾を「腹」に付けていることが、②は、戴高の描いた絵の中の牛は、尾を「立てている」ことが、適切に表現されているものをそれぞれ正答とする。 2 その他については、一の問五③の採点基準2、3、4に準じる。		
	問二	(正答例) 腹に付けている	2	㉖			
問三		(正答例) 立てている	2	㉗	七 問四 1 ①は、戦っているときの牛は、尾を「腹」に付けていることが、②は、戴高の描いた絵の中の牛は、尾を「立てている」ことが、適切に表現されているものをそれぞれ正答とする。 2 その他については、一の問五③の採点基準2、3、4に準じる。		
	ウ		3	㉘			
計				60			

(注) 正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。